

# 湖東普及だより

H27  
夏号

編集発行 滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：林 吉一）  
〒522-0071 彦根市元町4番1号  
TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp  
ホームページアドレス：http://www.pref.shiga.jp/hikone-pbo/nogyo/

## 水田野菜栽培のススメ

湖東管内では、稲・麦・大豆の2年3作体系を基幹とした土地利用型農業が主体となっています。しかし、近年の米価の低迷により水田作の経営にとっては非常に厳しい状況であり、経営の安定を考えると、稲・麦・大豆以外に園芸品目の導入を検討する必要があります。

### 広域重点品目 キャベツ、ブロッコリー、ナバナ

水田を利用した野菜の栽培面積は着実に増えつつあり、管内ではキャベツ・ブロッコリーのほかに、ナバナやカボチャ、ニンジンなどに取り組みられています。

キャベツは、加工用として契約栽培に取り組むことにより価格の安定化が図られています。

ブロッコリーやナバナは近年県内市場へ出荷され、価格変動も少なく、出荷の拡大が求められています。

大きな面積の場合にはキャベツやブロッコリーを、小さな面積の場合にはナバナが向いています。労働力など経営内容に応じた品目の選定が必要です。



定植機によるキャベツ苗の植え付け作業

### 広域重点品目 キャベツ、ブロッコリー、ナバナ

品目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
キャベツ(加工用)	○	▽	—	—	—	—	■
ブロッコリー	○	▽	—	—	■	—	—
ナバナ	—	○(▽)	—	×	—	—	■

○ 播種    ▽ 定植    × 摘心    ■ 収穫

## まずは排水対策

水田で野菜を栽培する場合、排水が良好であることが重要になってきます。前作の麦などの良否や土壌を見て、排水性の良いほ場を早めから選び、明渠などによりしっかりと排水対策を取り、栽培を始めることが必要です。

## 省力・低コスト化に向けて

野菜栽培で問題になるのは、労力やコストです。このためJA東びわこでは、重点3品目の苗の供給や定植機の貸出し体制を整備され、省力・低コスト化された栽培を推進されています。



底面給水育苗できれいに揃った苗

重点品目以外の野菜についても、給食用や直売所における地産地消による需要が拡大しています。

農産普及課では、関係団体と協力して栽培技術の支援や栽培情報の発信をおこなっていきます。栽培の詳細については、農産普及課・JAまでお問い合わせください。

## 直売所に花を出荷しよう(秋冬向け)

直売所で「花」は人気の商品です。特に年末や春・秋のお彼岸といった時期には直売所がにぎわいます。今回は今から栽培できる秋冬向けの花を紹介します。特に冬作は水稻育苗ハウスを有効活用できます。

それぞれの詳しい栽培法については、農産普及課までお問い合わせください。



品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～4月
寒小菊	▽ ×	—————	—————	—————	—————	—————	—————
ハボタン		○ ——— ▽	—————	—————	—————	—————	—————
切り花ハボタン	○ ———	▽ ———	—————	—————	—————	—————	—————
ストック(スプレー)		○ ——— ▽	—————	—————	×	—————	—————
キンギョソウ	○ ———	▽ ———	—————	—————	—————	—————	—————
キンセンカ			○ ——— ▽	—————	×	—————	—————

○ 播種   ▽ 定植   × 摘心   ■ 収穫

# 最近問題となっている大豆の雑草

## 防除が困難な雑草が増えています

管内の大豆ほ場で、これまであまり見かけない外来の雑草が繁茂し問題となっています。これらの雑草は、難防除雑草といわれ、播種時期に散布する除草剤だけでは防除が困難で、草種ごとに対策が必要です。まずほ場に侵入させないことが最善の対策です。また、ほ場でこれらの雑草を見かけたら種が実るまでにほ場外へ持ち出し確実に処分してください。

### イヌホオズキ類(ナス科一年生雑草)

イヌホオズキ類は中耕培土以降も発生し、大豆の収穫期でも生育は旺盛です。果実が大豆の子実に入ると、果実がつぶれて大豆に赤紫の果汁が付着し汚損粒の原因となります。

特徴：生育期間（4～10月）草丈（90cm以上）  
花（白色）、実（黒色、球形）

対策（除草剤）

播種直後 エコトップ（乳剤、粒剤）

生育初期 ロロックス（水和剤）

生育後半 バスタ液剤、ラウンドアップマックスロード



黒い実をつけた「アメリカイヌホオズキ」

### 帰化アサガオ類(ヒルガオ科一年生雑草)

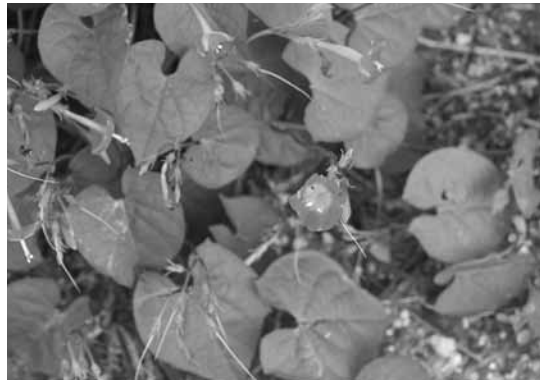
帰化アサガオ類は、一株で数千～数万粒の種子を作ります。種子の寿命が長く、水田にしても死なないことから、種子を作らせないように結実前に刈り取ることが重要です。

特徴：つる性の帰化雑草

花（約2cm、オレンジ、ピンク、白色）

対策（除草剤） バスタ液剤

※農薬については使用前にラベルを確認しましょう。



オレンジの花をつけた「マルバルコウ」

## (新)指導農業士紹介！！

### 彦根市甲崎町で、トマトとメロンを栽培されている辻岡逸人さん

平成26年度から新たに指導農業士として知事認定を受けられ、農業青年の育成指導にご活躍いただく辻岡さんを紹介します。

辻岡さんは、平成16年に新規にトマト栽培を中心とした農業を開始され、11年目を迎えます。農業青年の育成に当たっては、同じ作業を続けていける継続力と、植物の生育・変化を感じとれる感性を持った農業青年を育てていければと、意欲満々です。今後の辻岡さんの活躍に期待します。



# 環境こだわり生産記録等の提出について

## ○環境こだわり生産記録

- ◆ 提出期限：収穫開始予定の15日前（水稻は25日前）まで
- ◆ 提出書類：
  - ① 環境こだわり農産物認証申請書（規則様式第1号）
  - ② 生産記録（要綱様式第1号）
- ◆ 提出先：湖東農業農村振興事務所農産普及課または市町農政主務課



## ○環境保全型農業直接支払交付金

環境保全型農業直接支払は、多面的機能支払（世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策）および中山間地域等直接支払とともに、平成27年4月に施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく制度となりました。これにともない、26年度までの制度の内容が一部変更され、申請の主体がこれまでの個人から農業者グループが基本となりました。詳細な書類提出については、各市町農政主務課へご確認ください。

## ○申請に必要な書類の様式

滋賀県のHP内 農政水産部食のブランド推進課  
環境保全型農業直接支払交付金（環境こだわり農産物に対する支援）  
<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/kodawari/kodawarishien.html>

# 農業を学びませんか！！

滋賀県立農業大学校（所在地：近江八幡市安土町大中503）では、実践的な農場実習や講義により、農業に必要な専門知識や技術、経営能力を身につけることができ、養成科と就農科の2科があります。詳しくは同校教務担当（0748-46-2551）または農産普及課までお問い合わせください。

## ○養成科

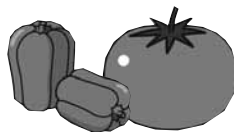
- ◆ 修業年限 2年
- ◆ 専攻コース 作物、茶、野菜、花き、果樹、畜産
- ◆ 応募資格 高等学校卒業もしくは卒業見込みの者等（一般入試）

### 養成科の願書受付および試験期日

	推薦入試	一般入試
		一次
募集人数	20名程度	10名程度
願書受付期間	平成27年10月1日～10月14日	平成27年11月24日～12月3日
試験期日	平成27年10月27日	平成27年12月11日

## ○就農科

- ◆ 修業年限 1年
- ◆ 専攻コース 野菜、花き、果樹
- ◆ 応募資格 20歳以上65歳未満  
県内で農業経営を行うことが確実な者  
出願時に就農する農地が確保できているか、確保できる見通しがある者



### 就農科の願書受付および選考期日

募集人数	10名
願書受付期間	平成27年12月14日～平成28年1月15日
選考期日	平成28年2月12日